

1

新聖歌78番 荒野の果てに F

荒野(あらの)の果てに 夕日は落ちて
 妙なる調べ 天(あめ)より響く
 グローリヤ インエクセルシスデオ
 グローリヤ インエクセルシスデオ

今日しも御子は 生まれ給いぬ
 よろずの民よ 勇みて歌え
 グローリヤ インエクセルシスデオ
 グローリヤ インエクセルシスデオ

新聖歌 75 神の御子はこよいしも G

1
 神の御子は 今宵(こよい)しも
 ベツレヘムに 生まれたもう
 いざや友よ もろともに
 急ぎゆきて 拝まずや 急ぎゆきて 拝まずや

3
 「神に栄えあれかし」と み使いらの声すなり
 地なる人も たたえつつ
 急ぎゆきて 拝まずや 急ぎゆきて 拝まずや

4
 とこしなえの 御言葉は 今ぞ人となりたもう
 待ち望みし 主の民よ
 おのが幸(さち)を 祝わずや ×2

【主を待ち望む】

C F G7 Em A
 主を待ち望む 者は 新たに
 Dm G7 C
 力を受けて のぼる

F G7 Em Am
 走り疲れず 歩みて うまず
 F Am G C
 鷺のように のぼる

5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
 ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
 ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
 「日本にはリバイバルが始まっています」
 「私も用いられます」
 「すべての問題は解決します」
 「することなすこと、みな成功します」
 「私のまわりには奇跡が起こります」
 「すべてのことを感謝します」
 「イエス様がご一緒ですから」
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



『キリストの神殿奉獻』シモン・ヴーエ工作
 ルーブル美術館 1640-1641年頃

祈りの小径(こみち)

Number:091 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書2章22～35節

22 それから、モーセの律法による彼らのきよめの期間が過ぎたとき、両親は幼な子を連れてエルサレムへ上った。23 それは主の律法に「母の胎を初めて開く男の子はみな、主に聖別された者と、となえられねばならない」と書いてあるとおり、**幼な子を主にささげるためであり**、24 また同じ主の律法に、「山ばと一つがい、または、家ばとのひな二羽」と定めてあるのに従って、**犠牲をささげるためであった**。

25 その時、エルサレムにシメオンという名の人があった。**この人は正しい信仰深い人で、イスラエルの慰められるのを待ち望んでいた。また聖霊が彼に宿っていた**。26 そして主のつかわす救主に会うまでは死ぬことはない、聖霊の示しを受けていた。27 この人が御霊に感じて宮にはいった。すると律法に定めてあることを行うため、両親もその子イエスを連れてはいってきたので、28 **シメオンは幼な子を腕に抱き、神をほめたたえて言った**、

29「主よ、今こそ、あなたはみ言葉のとおり

この僕を安らかに去らせてくださいます、

30 わたしの目が今あなたの救を見たのですから。

31 この救はあなたが万民のまえにお備えになったもので、32 異邦人を照す啓示の光、
み民イスラエルの栄光であります」。

33 父と母とは幼な子についてこのように語られたことを、不思議に思った。34 するとシメオンは彼らを祝し、そして母マリヤに言った、「ごらんなさい、この幼な子は、イスラエルの多くの人を倒れさせたり立ちあがらせたりするために、また反対を受けるしるしとして、定められています。—— 35 そして、あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう。——それは多くの人の心にある思いが、現れるようになるためです」。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

みことばの解説



祈りの小径・クリスマス・スペシャル第三弾

イエス様の誕生を心待ちにしていた人にシメオンとアンナがいます。ルカ2章26節から分かるように、シメオンはかなりの高齢であったと思われるし、アンナは結婚して七年後に夫に先立たれ、やもめ暮らしですでに84歳になっていました。このふたりに共通していたのは、【救い主を待ち望む生き方】でした。

主を待ち望んで生きた、ふたりの生き方を、聖書は少しだけ垣間見させてくれます。

- (1) 正しい信仰深い人であった(忠実と訳せる言語)
- (2) 聖霊が宿っていた(示しを受けていた・感じていた)
- (3) 宮を離れず昼も夜も断食と祈りをもって神に仕えていた

これが【主を待ち望む生き方】の模範です。彼らはその生き方を継続し、高齢になっても止めなかったのです。彼らが体験したような歓喜と興奮は、待ち望んだ人しか経験できないものではないでしょうか。私も(私たちも)誰かと比較するのではなく、ただ、(1)忠実に(2)聖霊様の導きに従って(3)宮を愛し、断食と祈りで主にお仕えしたいと思います。

(=これはまた、ダニエル祈禱会への主からの招きでもあります)

英国の説教者・祈りの器アンドリュー・マーレーが、【神を待ち望め】という書物で書いている内容を味わってください。

「樹木が、来る日も来る日も、また毎月毎月、そこに立つて太陽の光を受けるということだけによって美しく成長し、多くの実を結ぶように、私たちキリスト者の生活においても、ただなすべきことは、私たちが神の光の中にとどまり、その光が、神が、私たちにいのちと輝きを満たして下さるようにすることです。

ただここに、自然界と恩寵の世界の相違点があります。それは、木や花は全く意識することなしに光の祝福を受けますが、私たちは意識的に、自ら進んで、愛をもって受けるということです。信仰—神のみことばと愛に対する単純な信仰—を持つことは、神に対して心の目を開くことです。こうして私たちは、言い尽くせない神の恩寵の栄光を受けるのです」